

だれもが住みやすい地域をめざして

～自分たちの地域は自分たちで～

御坊市には、地域ごとにさまざまな組織が形成されています。

今回は、「地縁団体 菌自治連合会(以下、菌自治連合会)」について紹介します。

菌自治連合会では、「安心・安全な地域」を目指して、自主防犯組織や自主防災組織等の活動を積極的に行っています。

自主防災組織は、「自助・共助の意識を高める」、自主防犯組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方の基、組織運営をされています。



▲ 津波避難訓練の様子

～共助の力を高めるために～

菌自治連合会では地域ぐるみの取組として、ハロウィンや、区民を対象とした遠足をはじめとする各種催しを多数実施し、交流と親睦を深めてもらう機会を提供して、住民間のコミュニケーションの向上と連携強化を図っています。地域での催しが、地域の共助の意識を高めています。



▲ 地域でのハロウィンの様子

～地域の安心安全のために～

自主防犯組織は、警察官や市役所の職員と一緒に、防犯パトロールを行っています。年末には、毎年大規模な防犯パトロールを深夜遅くまで行っています。

自主防災組織は、避難訓練や防災に関するイベントを行っています。

6月に実施された、わかば保育園と合同の防災さんぽは、地域の子供たちのために、避難場所や避難路の危険箇所を一緒に確認しながら街を歩きました。

イベントに子どもたちが参加し、地域住民の顔を知ることによって、地域の安心・安全につなげようと日々、活動しています。



▲ 伊勢市防災センターへ研修に行きました

～新型コロナウイルスの啓発看板が設置されました！～

10月には、菌会館に新型コロナウイルスの啓発看板を設置されました。この看板は、常時目に止まる場所に設置し、地域の住民がふと我に返って、新型コロナウイルス感染症への意識の向上と対策の確認が、いつでもだれでもできるようにしています。



▲ 新型コロナウイルス啓発看板

～酒本理事長からのコメント～

災害の怖さや事前準備の大切さ等忘れないよう、日々訓練や地域イベントを重ねながら、共助の意識を高め、「一人の犠牲者も出さない」という考えで菌自治連合会は地域での活動に取り組んでいます。

そして、このコロナ禍の中で一番怖いと思うのが、感染者に対する誹謗中傷です。かかりたくてかかっているわけじゃないということを皆が理解し、感染者を温かい気持ちで受け入れられるような世の中になることを願うばかりです。

～おわりに～

地域コミュニケーションが希薄化している中、菌自治連合会では積極的に交流を深めていただいております。災害の被害を減らし、復興をスムーズに進めるためには、自助・共助・公助の3つの連携が必要不可欠です。他の地域でも、いざという時の為に、日頃から地域での交流及び活動を、積極的にお願ひしたいと思います。